

ダッカ大学公共管理学部及び BCSAA への講義提供

1. 本事業の趣旨

(1) ダッカ大学公共管理学部への講義提供の目的、期待される効果

2008年9月22日に経済学部は、バングラデシュ国ダッカ大学公共管理学部と学術交流協定を締結し、協定に基づき2010年4月1日から本学経済学研究科公共管理コース(以下、「PAコース」)に、ダッカ大学公共管理学部の Aka Firowz Ahmad 教授を招聘します。今回、Aka 教授の招聘に先立ち、本学とダッカ大学公共管理学部教員との人事交流をさらに加速させる目的で、土生 英里准教授、仲間 瑞樹准教授をダッカ大学公共管理学部に派遣し、公共管理学部学生に公共管理、財政の講義提供を計画した。

この講義を通じて、公共管理学部学生は標準的な公共管理及び財政への理解を深めることができる。そして日本人教員2名による講義は、バングラデシュ人教員による公共管理学部での講義を補完することにもつながる。また日本人教員2名による講義を通じて、講義参加者は日本の行政改革、財政改革への理解を深められると同時に、講義参加者に日本の行政改革、財政改革と、バングラデシュ国の行政改革、財政改革に関する比較学習の経験を与えることにもなる。

ダッカ大学公共管理学部は、多くの国家公務員を輩出しており、今回の講義提供を通じて、自国の開発課題に行政の立場から挑戦したいと希望する公務員希望者が増えること、及びPAコースへの留学希望者を掘り起こすことが期待できる。

(2) Bangladesh Civil Service Administration Academy(BCSAA)への講義提供の目的、期待される効果

2002年9月よりPAコースはJDS事業(日本の無償資金協力による留学生受入プログラム)を通じて、バングラデシュ国の官僚を留学生として受け入れている。その留学生の多くは Bangladesh Civil Service Administration Cadre に属する官僚であり、様々な省庁、地方行政の場を経験するジェネラリスト型の官僚である。Bangladesh Civil Service Administration Academy(BCSAA)は、その Bangladesh Civil Service Administration Cadre に属する官僚を対象にした公務員研修所である。

公務員研修所の研修プログラムは多岐にわたり、多くの公務員が研修を受けて、行政の場で研修経験を役立てているが、バングラデシュ国には多くの開発課題が残されており、様々な開発課題に関する深い知識を保有し、高い公務員倫理をもつ公務員養成が求められることは言うまでもない。特にジェネラリスト型の公務員を教育する BCSAA は、将来のバングラデシュ国の行政を司る中心メンバーを教育する場である。このような BCSAA に対して、PAコースがダッカ大学と協力して共同講義を試験的に実施することは、今後の定期的な共同講義運営に結びつく第一歩であり、バングラデシュ国の官僚の資質向上に大いに寄与することになる。また、受講者のPAコースへの関心を高めることも期待できる。

2. 講義分野：公共管理と財政

3. 担当教員

公共管理：土生 英里 准教授      財政：仲間 瑞樹 准教授

4. 受講者数

BCSAA では10名を予定 (Assistant Secretary/Senior Assistant Secretary)

ダッカ大学公共管理学部では15名から20名を予定

5. 講義時間：90分／1回あたりの講義

6. 講義期間

(1) 公共管理分野

ダッカ大学公共管理学部：2月8日～10日 土生准教授による講義

BCSAA：2月8日～9日 土生准教授による講義・ディスカッション

2月10日～11日 BCSAA Faculty Member による講義

(3) 財政分野

ダッカ大学公共管理学部：2月14日～16日 仲間 瑞樹准教授による講義

BCSAA：2月14日～15日 仲間 瑞樹准教授による講義・ディスカッション

2月16日～17日 BCSAA Faculty Member による講義

以 上